

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 こばんはうすさくら四日市富田教室

公表日 2026年3月21日

利用児童数 35

回収数 26

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25			1		
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	4	11			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16		3	7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25		1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	1	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	2	14		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1		5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23		3			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	1				

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。  
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	3	個別療育をする際に、部屋を確保できるようにできればいい。 児発、放ディと2か所で、分けたり、時間を分けながら出来ている。12人以上利用者がいる日は教室が狭く感じる。人数が多い時は別部屋で対応している。15名くらい居ると狭く感じるので、10名くらいが望ましい。 子供に対して職員が少ないと感じるときがある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	2	基本的に足りているが、休みの職員が多い日は足りないように感じる。 専門職員を配置している。 所定の配置以上で、個々に関わりやすくなっています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	環境設定は気を付けて行っている。 スケジュールを、紙やボードで視覚化している。 バリアフリー化されている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1	定期的に清掃を行っている。 床の水拭きは定期的に行いたい。 掃除機、整理整頓をしっかりと行っている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	2	広い空間で遊ばせている。 児童の表情や行動に合わせている。 クールダウン出来る場所を、場面に応じて設定出来ている。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	0	目標シートを活用している。 定期的に会議を開いている。 朝礼で前日の様子を共有して改善点を考えている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2	目標シートを活用している。 一部職員しか意向を聞いてないかもしれない。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	最近、定例会が無い。 上長に言いやすい環境を作れていると思う。 職員が感じた改善点を共有して実践している。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	5	行われているかわかりません。 その機会を確認していない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	動画等の研修を受け、記録することにより学ぶことが出来ている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	日々のプログラムがわかりやすく提示してある。 曜日別に領域によって分担してる。 職員で分担してプログラムを計画して、5領域に合したものが公表されている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	1	作成している アセスメントする中で保護者の方の意見を聞く機会を作り、計画を作成している。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	様々な視点から相談、検討が行われている。 定期的なカンファレンスを開催している。 利用される方の現在の様子が共有されている。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	ピンポイントしか来ない人にも、しっかり伝達して頂いている。 定期的なカンファレンスを開催している。 作成された計画が共有され実行されている。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	3	目標シートや朝礼で行われている。 現在、専門職同士で検討中。 職員や保護者に方と、その日の姿を共有し、次に望む姿を確認している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	現在、専門職同士で話し合える機会を設けている。 ニーズに合わせた支援内容を、5領域の項目に照らし合わせて考えている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	3	個人で考えている時もある。 個人ですると、ペアでするときがある。 その日のプログラム内容を共有し、進行サポートを行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	色々な面からプログラムが行われている。 曜日別で行われるため固定されがち。固定しないよう努めている。 児童に合わせて適切に設定、変更している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	1	目標や必要性に応じて、個別支援計画を行っている。 一部児童は行えてるが全員ではない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	朝礼で行っている。 子供たちの来所前にどのように進めるか打合せし連携している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	朝礼で行っている。 振り返りを行い紙面に記入することで共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	HUGで行っている。 記録を職員で分担して、次回の改善点を考える機会を作っている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	目標シートで行っている。 行っている。 出来るようになったこと、継続した方が良い部分などを確認して、見直しを行っている。 今後、自身も参加してきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	2	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	3	必要に応じて連携しています。 地域の医療機関などを確認し共有する。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	少しずつ始めたため、今後も積極的に行っていきたい。 保育園や幼稚園の訪問を行っている。 定期的に外部者が訪れて、話し合う環境や時間を作っている。 定期的に見学等を行い双方の情報共有を行う。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	3	必要に応じて連携しています。 利用者が進学する園や学校と連絡を取り合い情報共有をする。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	13	0	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	13	0	
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	12	1		

	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	3	私、自身の業務外で、あるためわからない。 必要に応じて連携していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	5	公園施設等を訪問して交流する機会を作ってる。 保育所等への情報共有は出来ている。 児童館へお出かけしている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	送迎時に、その日の様子を伝え共有している。 送迎時に聞くようにしている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	8	家族支援プログラムは少ないと思う。 積極的に取り組むべきだと思う。 家族対象のプログラムは行っていない。 子供のより良い環境の為に、家族の理解や協力が必要なので、このような機会があれば良いと思う。 研修の機会を作り、家族支援について学ぶ機会をつくる。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	契約の時に説明を行っている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	1	アセスメント時に行っている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	ご家族様に直接支援を行っている。 アセスメント時に一つずつ保護者に確認し、計画を作成している。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	見学時に、こちらの様子を伝え、ご自宅での様子も伺っている。 児童に何らかの変化が起きたときに、見学や面談する機会を設けている。 送迎時に悩み事など話を伺っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	8	保護者同士の関りを増やすべきだと思う。 定期的に保護者同士が交流する機会を設けて親交を深める機会を作る。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	マネージャー、管理者を通じて、他職員に共有対応している。 児発管に報告、共有し、対応出来るようにしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	3	日々のプログラムの内容は、保護者に発信しているが、定期的な通信は無いと思われる。 教室より通信、たおりを作成し、共有する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	シュレッダーをかけるなど。 メッセージのやり取りでは、伏せ文字にしている。 職員間の共有ラインでの写真は、消去するようにしている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	絵カード、ジェスチャー等を用いて、意思疎通を行い マイナスな言葉は、なるべく使わないようにしている。 送迎時などで保護者と子供の様子のついて話し合う機会を持っている。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	7	地域との関りが薄いと感じる。 今後、考えていく。 長期休みには、外部講師を招いたり、消防署へ出掛けたりしている。 地域の施設を訪問する機会を作る。	
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	家族に周知しているかまではわからない。 避難訓練を定期的に行っている。	
46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	3	私が働き始めてから避難訓練はしていない。 行っている。 時間的に難しいと思うが、避難訓練など毎月行った方が良い。	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	2	各児童の投薬内容は、紙に記載して周知している。 一覧表にして共有出来るようにしている。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	3	指示書がある方はいない。 一覧表にして、共有している。 保護者からも聞いて対応している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	委員会関係を充実させて、対応できるようにしていきたい。 行ってる。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	3	契約や面談の節に説明を行っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	朝礼で報告、共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1	初回研修であった。 入植時に研修を受けている。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	5	基本的に身体拘束は行っていない。